

東日本大震災と図書館
The Great East Japan Earthquake and Libraries

平成 24 年 3 月
March 2012

国立国会図書館
National Diet Library

図書館調査研究レポート No.13

(NDL Research Report No.13)

東日本大震災と図書館

The Great East Japan Earthquake and Libraries

平成 24 年 3 月

March 2012

国立国会図書館

National Diet Library

本リポートは、国立国会図書館が外部調査研究機関に委託し実施した調査研究の成果をとりまとめたものです。成果を広く図書館界で共有することを目的として刊行しております。

また、この資料の PDF 版をカレントアウェアネス・ポータル (<http://current.ndl.go.jp/>) に掲載します。

巻頭言

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災から 1 年が経ちました。地震・津波、更に福島第一原子力発電所の事故により東北太平洋沿岸部を中心とした東日本に甚大な被害を起こしたこの震災で、図書館やその類縁機関も広い範囲にわたって大きな被害を受けました。震災発生後しばらくの間、被災地の図書館の状況を把握し支援に必要な情報を提供しようとしても、得られる情報は断片的でその全貌を把握することは難しい状況が続き、私たちは正しい情報をタイムリーに得ることの難しさと大切さを改めて痛感しました。震災後 1 年を経過した現在、時期や規模、形は様々ですが、被災したほとんどの自治体で図書館サービスあるいは代替サービスが再開されています。この間、図書館及び図書館サービス復興のため不断の努力を続けてこられた関係者の皆様に心より敬意を表します。

国立国会図書館では、関係機関・団体と協力して、被災資料の救済・修復、被災地の復興とその支援のために必要とされる文献・情報の提供等の支援活動を行ってまいりました。更に、震災の様々な記録を国として包括的に収集・保存し、アクセスの便を提供する「東日本大震災アーカイブ」の構築に取り組んでいるところです。

そのような経験を踏まえて、これまで毎年実施してきました「図書館及び図書館情報学に関する調査研究」のテーマとして「東日本大震災と図書館」を取り上げ、震災発生後 1 年目の図書館の被災と支援活動をめぐる情報をできる限り広く詳しく収集し、整理して記録として残すことを目的として、調査を実施しました。

調査は、印刷媒体、インターネット、各種データベース等で公開されている資料や情報を中心に実施しましたが、加えて関係機関・団体等へのヒアリングや情報提供依頼も行いました。ご協力をいただきました関係者の皆様、とりわけ復興の最前線にあってお忙しい業務の中、貴重な情報をご提供いただきました被災地の自治体及び各種図書館の関係者の皆様並びに論考を御執筆いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

本レポートが、今後の図書館の復興と防災・減災の取組みの中で、役立てていただける資料となれば幸いです。

平成 24 年 3 月

国立国会図書館長
長尾 真

目次

要旨	1
Summary	2
1. 導入	5
1.1 このレポートの位置づけ	6
1.2 レポートの内容に先立って	7
1.3 東日本大震災の概況	11
1.4 日本の図書館の概況	15
2. 概要	21
2.1 「4. 被災状況」の概要	22
2.2 「5. 復興を支援する活動」の概要	28
2.3 「6. 記録や経験を残す活動」の概要	33
2.4 「7. 関連資料及びデータ」の概要	34
2.5 「8. 論考」の概要	34
3. 写真及び図表	35
4. 被災状況	61
4.1 被災の概況	62
4.1.1 文化施設等の被災の概況	62
4.1.2 図書館の被災の概況	62
4.2 岩手県	64
4.2.1 図書館における人的被害	64
4.2.2 図書館における物的被害／施設・設備	64
4.2.3 図書館における物的被害／図書資料等	66
4.3 宮城県	70
4.3.1 図書館における人的被害	70
4.3.2 図書館における物的被害／施設・設備	70
4.3.3 図書館における物的被害／図書資料等	71

4.4 福島県	76
4.4.1 図書館における人的被害	76
4.4.2 図書館における物的被害／施設・設備	76
4.4.3 図書館における物的被害／図書資料等	77
4.5 茨城県	81
4.5.1 図書館における人的被害	81
4.5.2 図書館における物的被害／施設・設備	81
4.5.3 図書館における物的被害／図書資料等	82
4.6 千葉県	87
4.6.1 図書館における人的被害	87
4.6.2 図書館における物的被害／施設・設備	87
4.6.3 図書館における物的被害／図書資料等	88
4.7 その他の地域	91
4.7.1 栃木県	91
4.7.2 東京都	91
5. 復興を支援する活動	93
5.1 被災資料の救済 (No.1～12)	95
5.2 被災地における図書館・読書環境の復旧支援 (No.13～39)	107
5.3 図書館サービスを通じた被災地支援 (No.40～44)	134
5.4 被災図書館支援ポータルサイト (No.45)	139
6. 記録や経験を残す活動	141
6.1 現物資料の収集・保存 (No.1～3)	143
6.2 震災デジタルアーカイブ (No.4～12)	146
7. 関連資料及びデータ	155
7.1 支援団体	157
7.2 関連イベント	176
7.3 主な新聞記事・雑誌記事	234
7.4 「カレントアウェアネス・ポータル」に掲載された関連記事	249
7.5 世界の図書館から寄せられたメッセージ	260
7.6 「東日本大震災と図書館」関連年表	262
7.7 図書館関係の協議会等一覧	266

8. 論考	269
東日本大震災からの復旧・復興と宮城県図書館の役割 (宮城県図書館 企画管理部 企画協力班主事 熊谷 慎一郎)	270
大学図書館が遭遇した東日本大震災 (東北大学附属図書館 情報サービス課長 小陳 左和子)	275
saveMLAK の活動から図書館支援の課題と展望まで (saveMLAK プロジェクトリーダー/ アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役 岡本 真) ...	279
日本図書館協会の取組み (社団法人日本図書館協会 常務理事・事務局長 松岡 要)	284
21 世紀の図書館の出発点—三陸の被災地を訪ねて (東京大学大学院 教育学研究科 教授 根本 彰)	290
参考：この調査から見えてきたこと (国立国会図書館関西館 図書館協力課 課長補佐 兼松 芳之)	296
9. The Great East Japan Earthquake and Libraries	303
9.1 Introduction	305
9.1.1 The Significance of this Report	305
9.1.2 Overall Structure	307
9.1.3 Preface	309
9.1.4 Overview of the Great East Japan Earthquake	314
9.1.5 General Overview of Libraries in Japan	320
9.2 Outline of the Report	327
9.2.1 The State of Damage	327
9.2.2 Activities Supporting Reconstruction	337
9.2.3 Activities Preserving Records and Experiences	342
9.3 Reference: Thing Learned from this Survey	344
9.3.1 Topics	344
9.3.2 Toward the Future of Libraries	350

<「8.論考」執筆者一覧>

熊谷慎一郎 (宮城県図書館 企画管理部 企画協力班主事)
小陳左和子 (東北大学附属図書館 情報サービス課長)
岡本 真 (saveMLAK プロジェクトリーダー、
アカデミック・リソース・ガイド株式会社 代表取締役)
松岡 要 ((社) 日本図書館協会 常務理事・事務局長)
根本 彰 (東京大学大学院 教育学研究科 教授)

<調査研究スタッフ>

国立国会図書館

佐藤 従子 (関西館 図書館協力課長)
兼松 芳之 (関西館 図書館協力課 課長補佐)
「要旨」「1.導入」「8.論考(執筆)」「9.(英語版)」ほか全般担当
田中 敏 (関西館 図書館協力課 調査情報係長)
「2.概要」～「7. 関連資料及びデータ」「9.(英語版)」ほか全般担当
林 豊 (関西館 図書館協力課 調査情報係)
菊池 信彦 (関西館 図書館協力課 調査情報係)

株式会社シー・ディー・アイ

疋田 正博 (代表取締役：総合統括)
半田 章二 (取締役研究企画室長：プロジェクトマネージャ)
「2.概要」「4.被災状況」担当
岡本 一世 (主任研究員：調査編集主幹)
「3. 写真及び図表」「5. 復興を支援する活動」～「7. 関連資料及びデータ」担当
箕輪 真紀 (副主任研究員：調査担当)
「3.写真及び図表」作成、「7.関連資料及びデータ」担当
亀谷 啓子 (研究員：調査担当)
「5.復興を支援する活動」～「7.関連資料及びデータ」担当